

基本目標 4

つながりと活力にあふれるまち

<施策分野>

<施策>

1 農業

1) 農業経営基盤の強化

2) 農地の保全と担い手の確保

3) ふれあい農業の推進

2 商工業

1) 商業の振興

2) 工業の振興

3) 企業誘致の推進

4) 新しい産業の創出・イノベーション

3 観光・イベント

1) 地域資源の充実・活用

2) 観光情報の発信・協働によるイベント事業の実施

4

基本目標

つながりと活力にあふれるまち



施策分野 1 農業

① 現況と課題

瑞穂町は、農業者の高齢化や担い手不足などによる耕作放棄地や遊休農地が増える一方、意欲ある新規就農者を積極的に受け入れてきました。農業の持続的な発展のためには、農業者が持つ栽培方法などの技術の次世代への継承や、安定した農畜産物の生産に向けた様々な生産基盤の整備や維持、多様な流通網の整備と販路の拡大が不可欠です。

これまでも、スマート農業推進事業や、環境負荷軽減推進事業など、農業者の方々に寄り添う施策を実施してきました。これからも、地域の農業を担う農業者に対し、農地中間管理事業による貸借などをすすめ、生産基盤の拡充と遊休農地などの解消につとめる必要があります。

さらに、町内での営農を希望する認定農業者、農業法人などの多様な経営体も受け入れ、農地の集約化をはかるとともに、農業振興のための拠点の整備を検討することで、農業振興を推進する必要があります。

② 瑞穂町のめざす姿

瑞穂町の農業が主要な産業のひとつとなり、農業の特産品がブランド力をもっています。また、農地が良好な田園風景を形成しています。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和12年度目標値
農地中間管理事業などに基づく農地の貸借などを行った面積	339,605㎡	439,605㎡
新規就農者受入件数(累計)	21人	26人

③ 施策

1) 農業経営基盤の強化



農業者の経営基盤の強化に向けた支援を推進するため、国や東京都と連携して農業用施設などの整備を支援するほか、生産性向上に有効であるスマート農業を推進します。

主要な取組

- 認定農業者や認定新規就農者など意欲のある農業者の支援
- 町内で生産された農畜産物の販路開拓・拡大・PR支援
- 6次産業化の推進
- ロボット、AIなどを利用したスマート農業の導入促進

2) 農地の保全と担い手の確保

地域の農業を担う農業者に対し、農地中間管理事業などを利用した農地の貸借をすすめるほか、新規就農者の定着に向けた支援の充実をはかります。また、遊休農地の解消をはかり、優良農地の保全につとめます。

主要な取組

- 新規就農者への支援
- 農地中間管理事業の活用

3) ふれあい農業の推進



重点



モノレール

農地については、農地の貸借のほか、農業者自らが運営する体験農園や観光農園を支援するなど、農地の多面性をいかした施策を推進するとともに、地産地消の推進に取り組んでいきます。

また、多摩都市モノレール延伸を見据えた、武蔵地区における新たな農用地の活用を研究します。

主要な取組

- 体験農園や観光農園の推進
- 武蔵地区における農業振興拠点の研究・検討

相乗効果

- ・ 観光農園の利用や地場農産物を購入する際の移動手段として多摩都市モノレールが利用されることで、農業の活性化が期待できます。
- ・ 農業参入する法人を積極的に誘致することで、遊休農地の解消につながるほか、雇用機会の創出が期待できます。

④ 主な関連計画

- 農業振興計画
- 産業振興ビジョン
- 都市計画マスタープラン
- 農業経営基盤の強化の促進に関する計画(地域計画)
- 多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想
- 多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画

⑤ 「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

農用地の良好な環境条件をいかし、新たな農業推進のための拠点形成をめざします。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

地域ブランドとなる農畜産物の支援をするとともに、優良農地を保全し、町の資源である農地の原風景を残していきます。

3) つながる地域づくり

町民農園や体験農園をきっかけとした地域の交流の場づくりをめざします。

4) 危機に備える

一時避難場所など、多面的機能を有する農地の保全につとめます。

施策分野2 商工業

① 現況と課題

瑞穂町の中小商業事業者を取り巻く環境は、大型商業施設、ロードサイド店およびコンビニエンスストアの進出やインターネットを利用した通信販売の普及の加速などにより、非常にきびしい状況であり、これらとの共存が課題となります。また、多くの事業主にとって従業員の高齢化、人材確保、事業承継も課題となっています。瑞穂町商工会と協働で、地域に根ざした商店の活性化に向けた取組を行うとともに、農畜産物など多彩な地域資源をいかした、新たな価値を生み出すことで商業の振興と地域経済の活性化をはかることが重要です。

瑞穂町における工業は、従業員100人未満の事業所が9割以上と小規模な事業所が多い状況です。1事業所あたりの製造品出荷額等や従業員1人あたりの製造品出荷額等は多摩地域や東京都の平均と比較し高い水準となっていますが、従業員の高齢化、人材確保、事業承継が課題となっています。そのため、町内の事業所の大半を占める中小事業者の蓄積された技術の承継が課題となっています。

東京都は、多摩地域にある大学、研究機関、専門人材、大手ハイテク企業、高い技術力を有する中小企業などの集積と、国内外の先端産業やスタートアップ創業者との活発な融合により、世界有数のイノベーション先進エリアに進化させる多摩イノベーションパーク構想をすすめています。

これまでも、ものづくり・DX等推進事業や中小企業振興資金融資あっせん、さらに令和7年度からは、金融機関との包括連携をきっかけとした支援アドバイザーの派遣や、こまめな企業訪問などを実施してきました。

瑞穂町の経済をささえる多種多様な業態の中小企業は、製造業をはじめ高い技術力を有しています。今後、先端技術を活用し、業種・分野の枠を超えたこれまでにないイノベーションを創出するとともに、地域における創業を支援していくことが必要です。

② 瑞穂町のめざす姿

地域の商店と大型商業施設などが共存し、活気にあふれています。町内の工業事業者が活気にあふれ、技術力の高い工業集積地が形成されています。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和12年度目標値
企業誘致奨励制度による企業立地数	3社	6社

③ 施策

1) 商業の振興

地域に密着した商店の活性化のために、商工会が地域の商店などと連携して実施する様々な取組と人材の育成および確保や事業承継などを支援します。また、みずほブランド事業のさらなる充実をはかります。

主要な取組

- 商工会が地域の商店などと連携して実施するイベントに対する支援
- みずほブランドの推進とPR
- 商店などに対し、電子決済など、デジタル化の取組への支援

2) 工業の振興



経営基盤が不安定な中小企業に対し、融資制度の利用促進や商工会、支援アドバイザーなどの専門家と連携し、企業経営の安定に向けた支援と今後のデジタル化・DX推進に向けた支援につとめます。また、企業訪問で得た課題に対し支援策を検討します。さらに、青梅線沿線地域産業クラスター協議会などと連携し、中小企業の支援につとめます。

主要な取組

- 商工会や支援アドバイザーなどと連携した中小企業の支援
- 企業訪問の実施

3) 企業誘致の推進



雇用の確保、経済波及効果およびイノベーション創出のため、優良企業の立地を促進します。

主要な取組

- 町外の企業に対する、瑞穂町のPR
- 立地希望事業者に対する情報提供

4) 新しい産業の創出・イノベーション

重点 創生 モノレール

産業のデジタル化・DXを推進し、新たな産業イノベーションの創出や事業承継などについて支援します。また、商工会や町内金融機関などと連携し、地域における創業を支援します。

主要な取組

- 同・異業種間の人材交流の推進
- 事業承継、創業への支援
- 多摩都市モノレールNo.6駅周辺における、産業近代化拠点などの研究・検討

相乗効果

- ・産官学連携で地域資源の魅力が最大限活用・発揮され、新たな価値が生まれるとともに、産業の活性化が期待できます。
- ・先端技術の活用によりデジタル化・DXの推進、生産性や付加価値の向上および新たな製品・ビジネスが創出され、雇用者の増加が期待できます。

④ 主な関連計画

- 産業振興ビジョン
- 工業振興計画
- 都市計画マスタープラン
- 多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想
- 多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画

⑤ 「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

インキュベーション（新たに創業をめざす起業家の育成）を図り、事業成功に導くための支援をします。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

町の産業力を高めるために、最先端技術の活用や新しいサービスを生み出し、あらゆる産業の価値を高めます。

3) つながる地域づくり

4) 危機に備える

施策分野3 観光・イベント

① 現況と課題

瑞穂町の観光資源である自然豊かな狭山丘陵やさやま花多来里の郷、郷土資料館「けやき館」などには、多くの観光客が訪れます。また、産業まつりをはじめ各種イベントでは、住民や団体が主体となって、様々なイベントが開催され、互いの交流がはかられています。令和4年度から観光・プロモーション係が新設され、瑞穂町シティプロモーション基本方針を軸に、観光PR動画の作成や公式キャラクターみずほまるを活用したプロモーション活動など、様々な事業を実施してきました。

今後は、観光資源の磨き上げや工夫を凝らしたイベントを充実させ、町内外に町の特色や魅力を積極的に発信していくことで、関係人口を増加させ、地域経済の活性化と持続的な発展につなげていくことが重要です。

② 瑞穂町のめざす姿

自然や文化資源、観光資源、特産品などがそれぞれ魅力的で際立つことで、住民や来町者が充実した時間を過ごすことができるとともに、瑞穂町の認知度が上がります。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和12年度目標値
観光情報サイトアクセス数	29,697件	42,760件
さやま花多来里の郷入園客数 (カタクリ開花時期)	6,783人 (令和7年)	12,000人

③ 施策

1) 地域資源の充実・活用 ✔ 重点 モノレール

シティプロモーション基本方針に基づき、地域資源の充実をはかります。また、複数の自治体にまたがる狭山丘陵については周辺自治体と広域で連携した観光施策を推進します。

さらに、多摩都市モノレール延伸を見据え、瑞穂町の風景や産業、歴史や文化なども含めた複数の要素を組み合わせ、新しい地域資源の可能性について探求していきます。

主要な取組

- 自然豊かな観光資源をいかした観光事業の実施
- イベントの内容、運営方法の見直し
- 特産品や地域資源の新しい活用方法の検討
- ふるさと納税返礼品募集事業の実施
- 町内外に向けたプロモーションの実施

相乗効果

- ・ 多摩都市モノレール延伸により、新たな人の流れが創出され、これを機に多摩都市モノレールNo.6駅では狭山丘陵をはじめとしたまちの観光拠点としての役割も期待できます。
- ・ 産官学連携で特色のある駅を整備することで、関係人口が増加し、地域資源やまちの観光・イベント情報を広く周知する役割も期待できます。

2) 観光情報の発信・協働によるイベント事業の実施 ✔ 重点

より多くの人々に観光・イベントの情報が行き渡るよう、観光ガイドブックや観光情報サイト、SNS、マスコミなどの多様なメディアを活用した観光情報の発信につとめます。また、各種団体や事業者、住民と連携・協働し、特色あるイベント活動を推進します。

主要な取組

- 観光・イベント情報のタイムリーな情報発信
- 様々な情報発信ツールの活用
- 公式キャラクターの活用による発信力の強化

④ 主な関連計画

- 産業振興ビジョン
- シティプロモーション基本方針

⑤ 「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

様々な情報ツールを活用し、観光資源を際立たせます。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

町の観光資源をいかし、多摩都市モノレールとの組み合わせによる相乗効果が起きるよう、新たな価値の創出につとめます。

3) つながる地域づくり

住民との連携強化をはかり、地域同士がつながる事業を創出します。

4) 危機に備える



観光PR動画『瑞穂町ここは東京』

瑞穂町公式キャラクター

みずほまる

